

## 第9回ふれ愛スタディin大空

7月31日から8月4日にかけて、友好町を締結している北海道大空町の中学2年生(女満別中学校・東藻琴中学校)と氷川町の中学2年生(氷川中学校・竜北中学校・八代中学校)による人材交流事業が行われました。

この事業は、雄大な自然が広がる北海道を舞台に中学生による交流を深め、友好関係の



▲交流と絆を深めました

発展に寄与し、併せてまちづくりの担い手を育成することを目的としています。

事前に4回の学習会を開催し、北海道や大空町のことを学び、研修に向きました。

熊本空港から羽田空港を経由して女満別空港に到着し、道東地区にある世界自然遺産「知床」をクルージング。大自然に触れ、摩周湖見学やアイヌ民俗資料館などの施設見学も行い学習を深めました。

大空町では、山下町長をはじめ多くの皆さまに温かい歓迎を受け、保護者を交えた交流会や網走湖でのカヌー体験など大空町の大自然を思う存分満喫し、中学生同士の交流が深まりました。

来月1月には「ふれ愛スタディin氷川」として大空町の中学2年生が氷川町に来町されます。

## 研修報告

●大空町団員と交流するうちに、方言や暮らしの違いを知ることができました。真夏は熊本と変わらないくらい暑いことが分かりました。

塚本 勇輝(氷川中学校)

●北海道も昼間は熊本と変わらないくらい暑かったが、夜はとても涼しく日本の北と南の違いを実感できました。

鉄島 一瑛(氷川中学校)

●氷川町と大空町が友好町となるきっかけとなった大橋牧場では、約1500頭もの牛が飼われており、規模の大きさに驚きました。

早川 立真(竜北中学校)

●3日間一緒に過ごした大空町団員とたくさんの思い出ができました。新しくできた友達との交流をこれからも続けていきたいです。

小川 舞(氷川中学校)

●オシロコシンの滝の大きさと自然の美しさ・偉大さに感動しました。大空町団員が優しく話しかけてくれて、仲良くなる

ことができうれしかったです。

黒田 梨紗(八代中学校)

●北海道の大きさがとても印象に残っており、飛行機やバスから見た畑の広大さは驚きでした。知床峠や知床クルージングで見た景色はきれいで、特に潮風を感じる事ができたクルージングは最高でした。

漣 瑠華(氷川中学校)

●友達や仲間のことを思いやることで楽しく研修ができ、熊本では味わえない感動の連続でした。

小島 悠良(竜北中学校)

●北海道の自然が印象に残り、野生のエゾシカやキタキツネが道路に普通にいたことが衝撃でした。

右谷 圭寿(竜北中学校)

●カヌー体験、バター作り体験など北海道の大自然の中で、今まで経験したことのない貴重な体験をすることができました。八木田幸樹(氷川中学校)

●大空町での夜、きもだめしやトランプをしてみんな楽しく笑いあえることができました。この研修に参加させてくれた両親や氷川町に感謝しています。

吉永 峻(氷川中学校)



▲網走湖カヌー体験

●めまねつ観光夏祭りの花火大会やドラゴンボート競争体験では、大空町団員と協力して力強く前に進むことができました。思い出に残る5日間の北海道研修でした。

加治屋楓香(氷川中学校)

●大空町で新しい友達ができ、お別れセレモニーでは悲しくて涙がこぼれました。来月1月には大空町団員が氷川町に来るので楽しみです。氷川町に到着してお母さんと会った時、親のありがたみを感じました。

塚田透子(氷川中学校)

●日の出・日没が熊本より2時間近く早く、雪国ならではの「スノーフェンス」や屋根がトタンで出来ていることから、自然環境がそこに住む人々に与える影響の大きさを実感することが出来ました。中学生と多くのものに触れることで大切な思い出ができました。

濱田明芳(ジュニアリーダー・八代高校)

## 心と体の健康づくり

### ひかわスポーツクラブたより!!

スポーツの秋が到来ですね。今月5日に、町民体育祭が開催されますが、ひかわスポーツクラブでは昨年と同様、グラウンドの一角にブースを開設します。

今回は「東日本大震災 心の復興支援」として、岩手県陸前高田市の総合型地域スポーツクラブ「NPO法人総合型リくぜんたかた」が考案し、地域再生の手段として浸透しているニュースポーツ「玉入れタイムレース」も展開します。

氷川町の皆さんと陸前高田



のタイムを競いながら、スポーツで震災からの復興を応援する取り組みです。より多くの皆さんのタイムを遠く岩手まで届けましょう。

## サマーチャレンジスクール2014 後編

45人の子どもたちとの21日間、スタッフも子どもたちに負けないくらい、毎日汗びっしょりで充実した日々を過ごすことができました。

このサマチャレの期間、本当に子どもたちの元気の良さには驚かされましたが、この子どもたちの元気を普段から支えているのは、保護者の皆さん、学校の先生、そして地域の皆さんなのだ、つくづく感じました。

サマチャレでは子どもたちいろいろな体験をさせたいと思ひ、たくさんの皆さんに応援

団になっていただきました。

救急救命法の講師、婦人会の皆さん、表札づくりでは木育インストラクターやひかわツーリズムの皆さんのサポート、プールでの監視、絵本の読み聞かせ、英語遊び、命の尊さを説法していただいた西福寺のご住職、こわいお話、梨農家の吉田さん、町探検や古墳遺跡探検を指導いただいた町生涯学習課の鈴嶋さん、ダンスの先生、お弁当を作っていたいた大幸さん。

そして子どもたちへ、たくさんのお食料やおやつを差し入れていただいた皆さん、本当にありがとうございました。

皆さんのおかげで、大鍋とひたすら戦った約50人前の「食育」も、新鮮な食材でメニューの幅が広がりました。

このサマチャレがたくさんの皆さんの応援に支えられ、無事終了できたことを心から感謝しています。

そして、この地域で育った子どもたちが、この地域の中で活躍してくれるよう、スタッフ一同楽しみに応援しています。

## イベント情報

### ☆必殺鬼ごっこ教室

誰もが盛り上がる鬼ごっこは、走る、方向転換、ストップ、ステップワーク、見る、考えるなど、スポーツの大きな要素を担っています。

会場：宮原体育館  
日時：10月11日(土) 10:30~  
対象：小学生  
参加費：200円(当日に徴収)  
※事前の申し込みはいりません。

### ☆エンジョイスportsブース

町民体育祭秋季大会会場にブースを開設します。参加費は無料です。

会場：竜北グラウンド南側野球場  
フェンス付近  
日時：10月5日(日)  
10時~12時 13時~15時  
対象：どなたでも参加できます  
内容：東日本大震災復興支援ニュースポーツ「玉入れタイムレース」、ストラックアウト他



## 豆知識コーナー~短距離スタート編~ 短距離のスタートをマスターして地域のヒーローに

短距離のスタートは写真①のように、前足をラインから2足分後ろへ、後ろ足はさらに1歩分後ろ。この状態なら「用意」のときに、前足のひざの角度が90度、後ろ足の角度が120度になり理想の形になります。しかし、スターティングブロックが無く、スパイクも履いていない状態なら、スターティングスタート(立ったままのスタート)がおすすです(写真②)。この場合は、後ろ足を前足より「半歩」だけ後ろにします。これなら1歩目が速く出て、良いスタートが切れます。

